

**製品名: CYP26C1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09641**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CYP26C1
別名	CYP26C1; Cytochrome P450 26C1
遺伝子 ID	340665.0
SwissProt ID	Q6V0L0
免疫原	抗血清はヒト CYP26C1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

**背景**

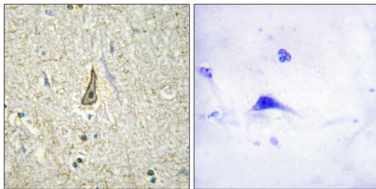
シトクロム P450 ファミリー 26 サブファミリー C メンバー 1 (CYP26C1) ホモサピエンス この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードする。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステ

ロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒する。この酵素は、オールトランス型および 9 シス型レチノイン酸の異化に関与し、細胞および組織中のレチノイン酸濃度の調節に寄与する。この遺伝子は、染色体 10q23.33 上の関連遺伝子に隣接している。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、補因子: ヘム基、機能: レチノイン酸代謝に関与する。全トランスレチノイン酸 (RA) とその立体異性体 9-シス-RA (優先基質) を含むレチノイドに作用します。誘導:レチノイン酸による。類似性:シトクロム P450 ファミリーに属します。組織特異性:ほとんどの組織で非常に低レベルで検出されます。、

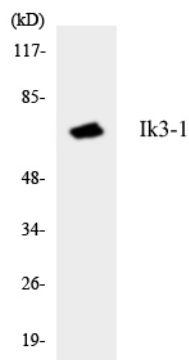
## 研究分野

レチノール代謝;

## 画像データ



シトクロム P450 26C1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Ik3-1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。